

宇和島の魅力を DEVELOP!! 宇和島プロジェクト

2年1組 河野 桃子 2年1組 脇田 胡春
2年2組 武田 莉奈 2年2組 田中 凜 2年2組 都川紗也佳
指導者 谷田 美穂子

1 課題設定の理由

現在、愛媛県の様々な市町村で人口減少に伴う少子高齢化が加速しており、宇和島市も例外ではない。そこで私たちは地産地消の推進を図るとともに宇和島市の活性化に貢献したいと考え、宇和島市の産業の中でも「食」に注目した。班員それぞれが宇和島の特産品である「みかん」を使ったスイーツ開発を行った。現在の愛媛県のかんきつ類の生産量は、約19トン。その中でも全国1位を誇る温州みかんは、約12トンを占めている。それらの約3割（3.6トン）が廃棄みかんとして、私たちの手に渡ることがなく処理される。個数で示せば、約60,000個にも上る。そこで廃棄みかんを有効活用した地域活性化を目指し、本研究を行った。

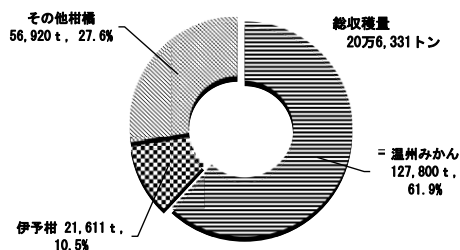


図1 愛媛県におけるかんきつ類収穫量の割合 (令和3年度)



写真1 宇和島商工会議所主催事前学習会

2 特産品を使ったスイーツ

私たちは、課題を解決するために宇和島商工会議所・宇和島袋町商店街振興組合共催の「うわじま食ー1グランプリ〜宇和島の魅力発掘!〜」というプロジェクトに参加した。宇和島の特産品を使ったスイーツを考案し、パティシエの方にアドバイスをいただいた。宇和島の特産品の中でも温州みかんに注目し、廃棄される温州みかんを使って、アレルギーの方を対象としたグルテンフリーのスイーツを考案した。

3 研究方法

「うわじま食ー1グランプリ」に参加し、宇和島の特産品を使ったスイーツを考案。商品開発をすることで宇和島の人口減少に伴う少子高齢化の低下を図る。

- (1) 宇和島商工会議所の方々が主催する食品開発研究会に参加する。
- (2) 宇和島の特産品を使ったスイーツ案を出す。
- (3) 「うわじま食ー1グランプリ」に自分たちのアイデアを出品。『みかんカヌレ』、『エビパン風みかんパイ』の二作品が敢闘賞を受賞。
- (4) (3)のアイデアをもとに廃棄みかんを有効活用したスイーツを考案し、商品開発をする。

『みかんタルトレシピ』

タルト生地【材料】・卵1個 ・砂糖20g ・植物油30g ・米粉90g
・アーモンドプードル20g ・片栗粉10g

【作り方】準備 ・タルトの型にバターを塗って冷蔵庫に冷やしておく。
・オーブンを160℃に予熱しておく。

- ① ボウルに卵、砂糖、植物油を入れて泡だて器でよく混ぜる。

- ② 米粉、アーモンドプードル、片栗粉を加えてゴムベラで混ぜ、生地をまとめる。
- ③ ラップに生地を取り出して、型よりも大きめに伸ばす。
- ④ 伸ばした生地を、タルトの型にのせて敷きこむ。
タルト型の上から綿棒を転がし余計な生地をのける。
- ⑤ タルトの底にフォークで穴をあける。
- ⑥ 予熱したオーブンで、25～27分焼く。
(焼き加減を見ながら焦げ目をつける)
- ⑦ 焼きあがったら型に入れたまま、粗熱をとる。

トッピングゼリー【材料】・水 200cc ・粉ゼラチン 5g ・グラニュー糖 30g
・レモン汁 10g

- 【作り方】① 沸騰したお湯にゼラチン、グラニュー糖を入れて混ぜる。
② 火を止めてレモン汁を入れる。
③ 粗熱を取ってみかんを入れたタルト生地に流し込む。

みかんジャム (約 350g 分) 【材料】・廃棄みかん 300g (6 個分) ・グラニュー糖 90g

- 【作り方】① みかんを皮ごとカットする。
② みかんとグラニュー糖を鍋に入れて加熱する。
③ 弱火で煮詰める。
④ とろみが出たら火を止めて粗熱を取る。
⑤ 出来上がったみかんタルトにのせたら完成。



写真2 完成したみかんタルト

※今回は、廃棄みかんを入手できなかったため、販売されている温州みかんで代用した。

4 まとめと今後の課題

私たちが考案したみかんタルトを宇和島市にある洋菓子店パティスリージュテームの方に試食していただき、商品開発に向けてのアドバイスをいただいた。「みかんタルト」はジャムにみかん6個分、トッピングにみかん4個を使っているため、廃棄される温州みかん(約60,000個)を仮に完全に消費するには、計算すると6,000個みかんタルトを作れることになる。このみかんタルトを作って、愛媛、全国のみかんの廃棄物を減らす一歩になると考える。

また、図2のような産官学連携が今後のカギとなる。農家で規格外商品となったみかんを使って私たち高校生が製造し、道の駅で販売し、それを農家に還元する。このように宇和島市の地域活性化や地域循環へ、高校生が中心となって街づくりに貢献することこそが私たちの課題解決につながる。愛媛県で廃棄されるみかんが私たち消費者のもとへ届く日が来る社会を目指す必要がある。

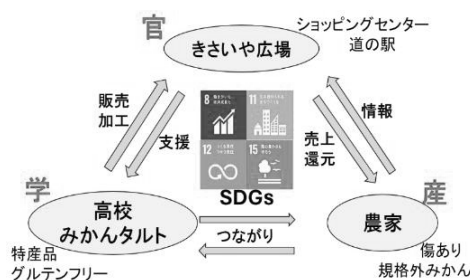


図2 私たちの理想とする産官学連携ロールモデル

5 謝辞

本研究に携わってくださった宇和島商工会議所、パティスリージュテームの関係の方々はこの場を借りて、感謝申し上げます。

参考文献

- ・愛媛県庁/かんきつ類の統計 (<https://www.pref.ehime.jp/h35500/kankitsu/toukei.html>)